◆戸別収集・有料化全市実施説明会　Q&A

平成 25 年 7 月 31 日　（水）　午前 10 時から午前 11 時半

場所　玉縄すこやかセンター

参加者　33 名

1　鎌倉市のごみの現状について

2　戸別収集・有料化説明 DVD 上映

3　モデル事業等についての概要説明

4　質疑応答

Q　クリーンステーションで使用していたネットは、不要になった場合どうしたらいいですか。

A　ご要望に応じて、市が無料で回収いたします。

Q　クリーンステーションの前に住んでいますが、広い道路なので、通りがかりの人が不法にごみを捨てていきます。戸別収集になって、同じような事態が起きないか心配です。

A　戸別収集・有料化の全市実施を行った際には、パトロールを強化する予定です。

モデル地区では、戸別収集の日には、クリーンステーションに出されるごみがなくなり、不法に捨てられるごみが減りました。他市の事例でも、きれいなクリーンステーションにはごみが捨てにくいため、不法投棄が減ると聞いております。

Q　生垣の中にごみを捨てていく人がいます。そのごみはどうしたらいいですか。

A　市にご連絡をお願いします。ごみを捨てた人が、誰なのか特定したいと考えております。

また、特定が難しい場合でも、パトロールを行うなど対策を考えます。

Q　集合住宅の有料化の事例はありますか。

A　全市実施の際は、マンションも有料化する予定です。１軒ずつ収集するのではなく、専用のクリーンステーションに出していただきます。アパートで、専用のクリーンステーションがない場合には、専用の排出場所を作っていただく予定です。

Q　小規模な集合住宅は、分別が良くないので、これ以上分別が複雑になるのは避けてほしいです。特に、危険・有害ごみと燃えないごみの分別が難しいです。食用油の収集日を危険・有害ごみと別の日にするなど、対策を考えていただきたいと思います。

A　危険・有害ごみと燃えないごみを分けている理由は、収集作業の安全性のためです。危険・有害ごみは無料で、燃えないごみを有料にすることにより、分別が徹底されることを期待して分けています。食用油の収集日の変更については、ご意見として承りたいと思います。

Q　保管中の危険も考えて、ガラスという分別区分を作れないでしょうか。

A　ご意見として承りました。

Q　戸別収集になっても、クリーンステーションに出すごみは、今までどおりクリーンステーションに出してよいのでしょうか。

A　今までと同じです。

Q　容器包装プラスチックは有料ですか。

A　無料ですので、有料の指定収集袋に入れる必要はありません。

Q　無料といっても、スーパーで通常のごみ袋を買うから有料なのではないでしょうか。

A　指定収集袋の料金は、通常のごみ袋より高い料金設定となっております。

Q　8,000 トンの削減は、いつの時点での想定ですか。今後、市のごみ総量が増えていく可能性はありますか。

A　平成 27 年３月までに、8,000 トンの削減が必要です。将来については、平成 28 年度から新たなごみ処理基本計画を策定して、その次の 10 年間の計画を作っていきます。ごみの総量についてですが、鎌倉市の人口は今後少し増える見通しですが、将来的には減少に転じていくと考えており、ごみの量もそれに伴うものと思われます。

Q　指定収集袋の大きさを見てみたいです。

A　こちらのサンプルをご覧ください。

Q　燃やすごみが 10 パーセントしか減らないならば、今泉クリーンセンターで焼却しているごみの分が減らせるのか疑問です。また、戸別収集にあたっては、民間業者の知恵などを活用してはいかがでしょうか。

A　3,500 トンを家庭系ごみで減らそうと考えています。藤沢市では、戸別収集・有料化に伴い、18.7 パーセントの削減効果があったため、鎌倉市でも 3,500 トンは減らせると考えています。民間の宅配業者の方の意見等も参考にしながら、効率的な収集体制の構築を行っていきたいと考えております。

Q　その他の取り組みで 1,500 トン削減する目標となっていますが、事業系ごみを減らさないと達成できないのではないでしょうか。今後、観光客が増える可能性もあるので、事業系ごみについての取り組みの説明もしてほしいと思います。

A　事業系ごみの分別徹底と、手数料の改定を考えています。

分別については、今年１月から、今泉クリーンセンターで、事業系ごみをベルトコンベアに開けてチェックを行っています。１月から５月の平均で、前年より 13 パーセントごみが減少しました。併せて、事業者にも分別の指導を行っています。

また、現在の鎌倉市の事業系ごみの手数料についてですが、１キログラムあたり 13 円となっており、周辺の市町村に比べて手数料が安いため、事実上他市のごみが持ち込まれていることも考えられます。今後、１キログラムあたり 21 円に手数料を改定することにより、500 トン相当を削減目標としています。

他に、月に３トン以上の多量排出事業者については、自分たちで資源化するよう指導しています。一定規模の事業者への生ごみの分別指導を行っており、様々な施策を行い 1,000 トンが削減目標です。

Q　週２回の燃やすごみについて、収集日は今と同じですか。

A　同じです。

Q　コストが 7,000 万円赤字になるということは、税金から出ていくことになります。メリットと市民負担とをどのようにとらえているのでしょうか。袋の値段設定や収集方法の違いによるシミュレーションをしていますか。

A　確かに、コスト増をいかに減らすかが求められていると思います。モデル地区での台数に基づいて、全市の地図を分けて、収集シミュレーションを行っている最中です。１台でも少なくして、コストを減らすように考えています。他市の事例も参考にしながら、コスト削減に努めていきます。

Q　紙おむつは、いままでと同じ通常のごみ袋で出していいのでしょうか。

A　通常のごみ袋で構いません。

Q　燃やすごみと紙おむつを一緒に出すときに、注意点はありますか。

Ａ　通常は収集作業員が目で見て、有料袋に入れるべきものなのか、無料のものなのか判断しますが、ごみ袋に「紙おむつ」とペンで書いていただいても構いません。